



エコアクション 21

環境経営レポート

2023 年度

2023.4-2024.3

(作成日：2024 年 6 月 15 日)



®環境省

エコアクション21

認証番号 0003386

株式会社 第一産業

目次

〔1〕 対象範囲	3
〔2〕 組織の概要・実施体制	3～4
〔3〕 環境経営方針	5
〔4〕 環境経営目標	6
〔5〕 環境経営計画	7
〔6〕 環境経営目標の実績	8
〔7〕 環境経営計画の取組結果とその評価	9
〔8〕 次年度の取組内容	10
〔9〕 環境関連法規等の遵守状況の 確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟等の有無	11
〔10〕 代表者による全体評価と 見直しの結果	12～13
〔11〕 認証16年継続にあたり	14

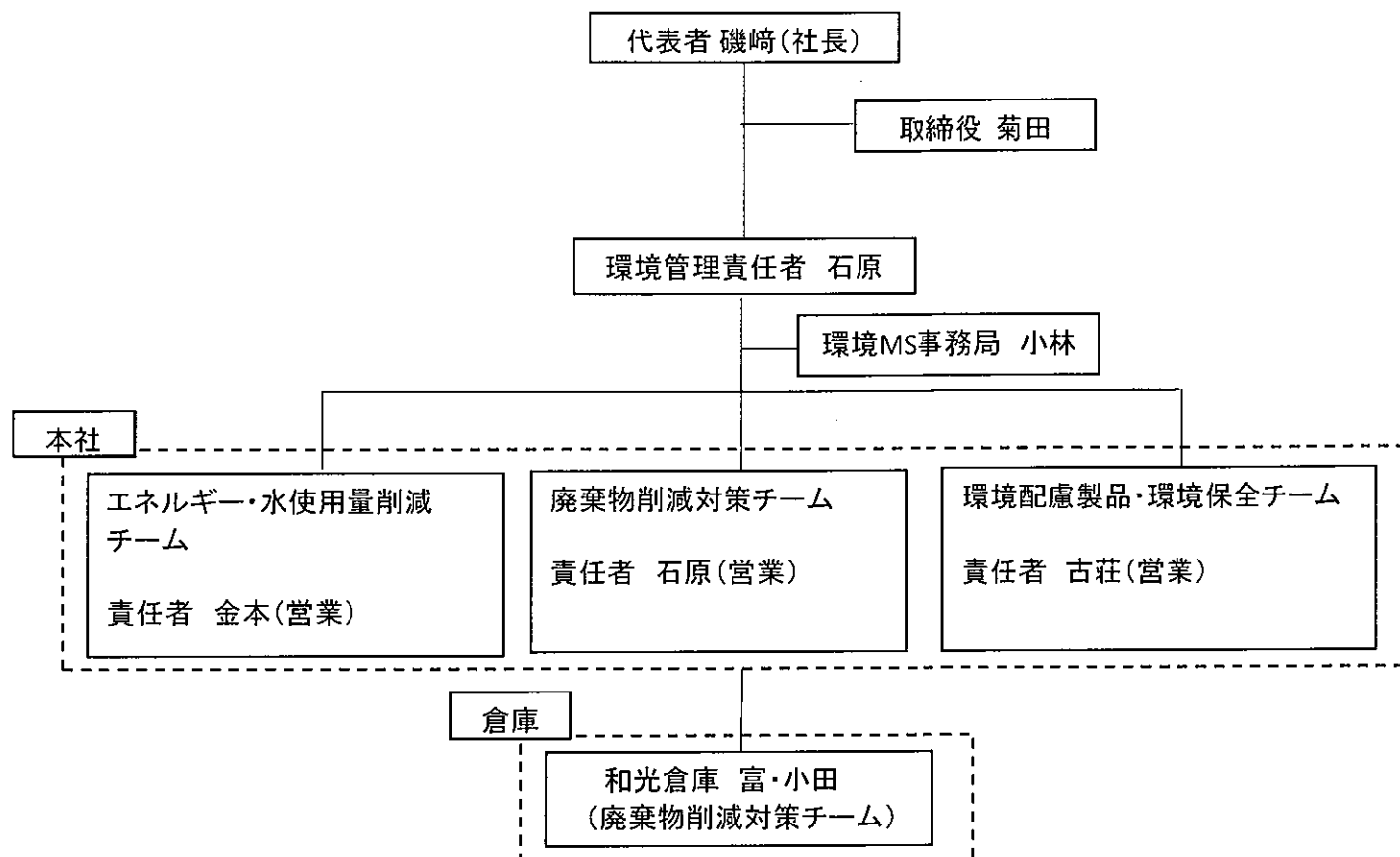
1. 対象範囲

認証・登録事業者 株式会社第一産業
東京都板橋区成増 1-7-21
認証・登録の 包装資材及び諸資材の企画、設計（提案）、制作
対象活動範囲 販売
対象事業所 本社
和光倉庫
全組織・全活動を認証・登録の対象範囲とする

2. 組織の概要

事業社名及び代表者名
株式会社第一産業
代表取締役 磯崎 孝
所在地
東京都板橋区成増 1 丁目 7 番 2 1 号
TEL 03-3938-7711
FAX 03-3938-7720
環境管理責任者氏名及び連絡先
石原 晃 TEL 03-3938-7711
事業内容 包装資材及び諸資材の企画、設計（提案）、制作、販売
事業の規模
資本金 28,000 千円
創立年月日 昭和 31 年 11 月 29 日
売上高 11 億 7333 万円
従業員 18 名（内、和光倉庫 2 名）
本社
所在地
東京都板橋区成増 1 丁目 7 番 2 1 号
延床面積 853.75 m²（内、和光倉庫 476.00 m²）
敷地面積 667.64 m²（内、和光倉庫 441.07 m²）
和光倉庫
所在地
埼玉県和光市南 1 丁目 13 番 5 号（和光倉庫）

環境管理実施体制図及び実施体制



役割・責任・権限

代表者(会長)	・環境方針を策定する ・環境管理責任者を任命する ・代表者による全体の評価と見直し ・環境目標の承認・内部監査の任命 ・経営における課題とチャンス の整理と明確化
取締役	・会長と連携 必要があれば会長の代行を行う
環境管理責任者	・環境経営システムを構築、運用、維持し状況等を報告する ・外部からの苦情等の受付や対応 ・緊急事態への対応 ・環境目標、活動計画の作成 承認を得た上で実施を支持する ・法令等の遵守状況の確認をMS事務局に指示、結果の報告を受け必要に応じて各部門に指示する ・法令等の遵守状況の確認結果を代表者に報告する ・内部監査による指摘事項の対応
環境MS事務局	・環境管理責任者から、必要に応じて支持を受け、環境関連文書及び記録の作成、管理等 ・環境目標、活動計画の達成状況及び実施状況の確認 ・環境管理責任者の指示を受けて、法令等の遵守状況を各部門と協力し結果を報告する ・環境活動レポートの作成
内部監査員	・EA21の要求事項並びに環境活動レポート作成基準がまもられているか確認 ・環境方針、環境目標、活動計画がまもれているか確認 ・監査の結果を代表者(社長)、環境管理責任者、各責任者に報告する
各担当責任者 (和光倉庫を含む)	・それぞれの担当を収集して環境目標の素案及び環境活動計画 ・承認を得た環境目標及び環境活動計画を実施する ・問題発生時並びに問題の発生が予見された場合、環境管理責任者への報告・連絡・相談をする
全従業員	・環境方針、環境目標、活動計画への理解並びに実行 ・日常業務に対する個人個人の責任を自覚してEMS活動に取り組む ・問題発生時並びに問題の発生が予見された場合、担当責任者への報告・連絡・相談をする

3. 環境経営方針

1. 基本理念

当社は創業以来 包装梱包に関する仕事を社業としてきました。現状は集約され「包装資材及び諸資材の企画設計（提案）による制作販売」を主とする仕事を社業としています。提供する製品及びサービスを通じ社会に貢献することを目指しています。

2. 基本方針

1. 当社は 取扱品や業務上の行動や備品設備等 全ての企業活動の面で 経営における課題とチャンスをつまみ 出来る限り環境保全が 確保され推進されるように努めます。

- ① 当社の行う事業活動及び 製品に係わる環境負荷を低減し 環境に配慮した事業活動を行うと共に 省エネ啓発活動など 環境貢献に努める
- ② 二酸化炭素排出の削減 電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減をする
- ③ 水資源の使用量削減をする
- ④ 廃棄物の削減をする
- ⑤ 環境意識向上の推進をする

2. 当社は 環境に関する 法的及び当社が同意するその他の要求事項を確実に遵守して 環境保全に努めます。

3. 当社は 社内の会議や打ち合わせ等の会合で 全従業員に環境経営方針と環境経営目標について 内容が認識され周知し実行されるように努めます。

4. 経営環境の継続的改善を推進します。

2024年3月31日

株式会社 第一産業
代表取締役 磯崎 孝

4. 環境経営目標

基準年 (2017 年)	排出係数	2023 年度 基準年比-1.5%	2024 年度 基準年比-1.5%	2025 年度 基準年比-1.5%
温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂) (56,200)	0.451kg-CO ₂ /kWh	55,357	55,357	55,357
電気使用量の削減 (kWh) (21,704)		21,378	21,378	21,378
都市ガス使用量の削減 (m ³) (723)	2.16kg-CO ₂ /m ³	712	712	712
ガソリン使用量 (L) (19,416)	2.32kg-CO ₂ /L	19,125	19,125	19,125
水使用量 (m ³) (維持管理) (227)		227	227	227
紙資源の削減 (kg) (640)※		790	790	790
産業廃棄物の削減 (kg) (維持管理) (1,000)		1,000	1,000	1,000

電力の CO₂ 排出係数は、東京電力(令和 1 年度実績)調整後排出係数 0.451kg-CO₂/kWh を使用した。

※紙資源の目標に関しては、昨年現実と目標値に格差が有り見直しをした為増加した。但し今後は経過を見ながら設定を変更する。

5. 環境経営計画

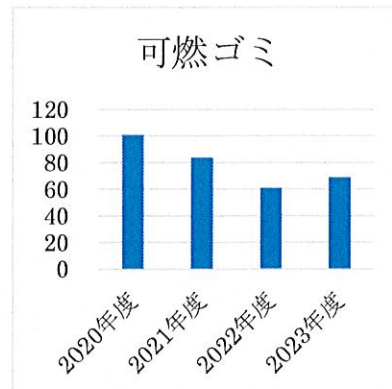
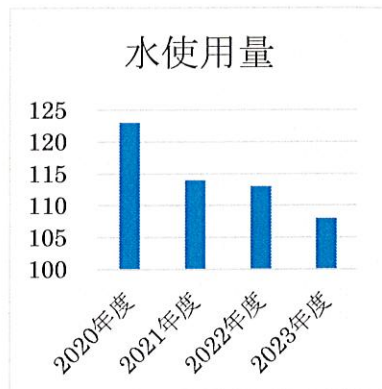
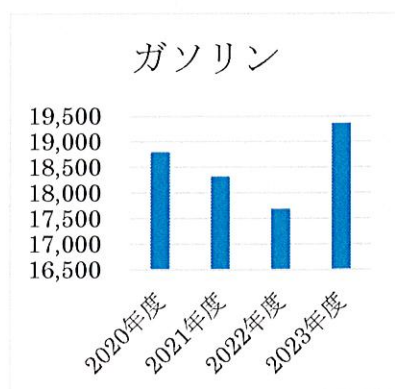
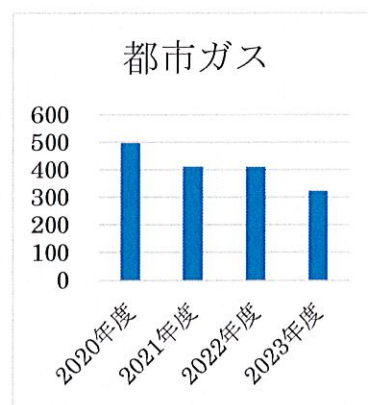
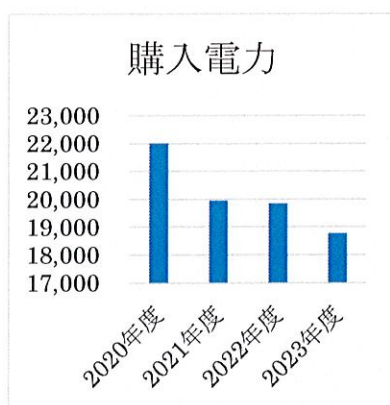
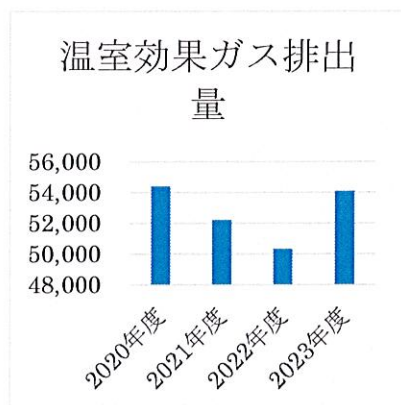
環境経営目標	取 組	具体的な施策
事業計画及び製品に係わる環境負荷を低減する	・製品の簡素化やコストダウンの提案を行う ・梱包形態の変更等による輸送コスト削減の提案を行う ・社内管理データを常に更新し得意先との情報共有に努め発注ミスを防ぐ ・展示会への参加し環境対応商品の知識を高める ・仕入先講習、インターネット等常に新しい情報を取り入れ得意先との情報共有を図る	・資材の環境配慮型製品への切り替えを提案した ・自社使用の車両を積載量の大きいものに買い替え、輸送効率を上げる様にした ・社内ネットワークを整備し、情報共有を促進した ・展示会へ参加し、仕入先との交流に努め、新商品の情報収集を行なった ・新しい情報があった場合には、社内共有し、お客様に対応していた
二酸化炭素排出の削減、電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減	・窓際の温度差を無くす様断熱シートや遮光カーテンを設置する ・無駄な電気を消す様心掛ける ・定期的にエアコンフィルターの清掃をし、節電効果を上げるようにする ・適正温度管理の徹底 ・ガスストーブ、給湯器の適正使用	・カーテンを新しくし、遮光カーテンにした ・つけっぱなしにしないよう都度確認した ・定期的なエアコンのフィルター掃除をした ・20° になったら消火した ・夏場は給湯器の温度・火力を低くした
水使用量の削減	・設備の点検、不備があった場合の早急な対応 ・適正使用を心掛け、設備の点検を行う	・不備は見つからなかった ・適正使用であった ・設備不備は見られなかった
廃棄物の削減	・引続き分別リサイクルは行う ・新たな SDG s に関する情報があったら共有する ・リサイクルする事は徹底出来ているので今後は無駄にプリントアウトしないように周知する ・引続きエコロジー製品を選択していく ・印刷が必要な文書と必要無い文書を選別していき、資源の無駄使いをなくしていく	・社員一人一人が日々分別リサイクルに努めた ・複合機を導入した事でプリンタの印刷量が減り、カートリッジやプリンターインクの購入量を抑えることが出来た ・社内利用する文房具等はエコロジー製品を積極的に選択し、詰め替え可能な製品を選択し廃棄量を抑えた ・複合機を導入し、FAX 受信文書を PDF ファイルとして作業する事で紙使用量の削減が出来た
環境保全意識の向上	・社会貢献活動 ・環境保全の意識向上と活動を進める ・社内の整理・清掃の徹底	・AEDの管理を行う ・社内研修で意識向上を推進する ・会社回りの美化に努める

6. 環境経営目標の実績

項 目		単位	2021 年度 実績	2022 年度 実績	2023 年度 実績	2023 年度 目標	評価	増減率 %
			2021. 4～ 2022. 3	2022. 4～ 2023. 3	2023. 4～ 2024. 3	2023. 4～ 2024. 3		
温室効果ガス排出量		kg-CO ₂	52,230	50,710	54,099	56,596	○	-4.4
総エネルギー投入量	購入電力	kWh	19,963	19,855	18,782	21,378	○	-12.1
	都市ガス	m ³	413	412	325	712	○	-54.4
	ガソリン	L	18,324	17,691	19,364	19,125	△	1.2
水資源	上水	m ³	114	113	108	227	○	-52.4
廃棄物等総排出量	可燃ごみ ※1	袋	84	61	69	101	○	-31.7
	不燃ごみ ※1	袋	13	13	28	12	×	133.3
	産業廃棄物	t	1.06	0.48	1.09	1.00	△	0.1
排出量	下水道	m ³	123	113	109	227	○	-0.5
資源投入量	事務用コピー用紙等	kg	790	790	790	790	○	0

電力の CO₂ 排出係数は、東京電力(令和 1 年度実績)調整後排出係数 0.451kg-CO₂/kWh を使用した。

※1 可燃・不燃は途中から定額制の為比較方法を袋単位で集計



7. 環境経営計画の取組結果とその評価

1. 事業活動及び、製品に係わる環境負荷の低減について

- ・製品の簡素化やコストダウンの提案を行う
- ・梱包形態の変更等による輸送コスト削減の提案を行う
- ・社内管理データを常に更新し、得意先との情報共有に努め発注ミスを防ぐ
- ・展示会へ参加し環境対応商品の知識を高める
- ・仕入先講習、インターネット等、常に新しい情報を取り入れ得意先との情報共有を図る

2. 二酸化炭素・電力使用量及びエネルギー使用量削減・水資源削減について

- ・窓際の温度差を無くす様断熱シートや遮光カーテンを設置する
- ・無駄な電気を消す様心掛ける
- ・定期的にエアコンフィルターの清掃をし、節電効果を上げるようにする
- ・適正温度管理の徹底
- ・ガストーブ、給湯器の適正使用。
- ・エコカー切り替えを行う為の情報収集。
- ・効率の良いルートで周れる様、事前準備を行う

3. 水使用量の削減について

- ・設備の点検、不備があった場合の早急な対応
- ・適正使用を心掛け、設備の点検を行う

4. 廃棄物の削減

- ・引続き分別リサイクルは行い、新たなSDGsに関する情報が有ったら共有していく
- ・リサイクルする事は徹底できているので今後は無駄にプリントアウトしないように周知していくSDGsに関する情報収集を行う
- ・引続きエコロジー製品を選択し購入していく

5. 紙資源の削減

- ・印刷が必要な文書と必要無い文書を選別していき、資源の無駄を無くしていく

6. 環境保全意識の向上

- ・引続きペットボトルの回収、AEDの管理を行う
- ・次年度も環境関連の研修を行う
- ・サンプル等デスク周りの整理整頓に努める
- ・会社周りの美化に努める

8. 次年度の取組内容

1. 事業活動及び、製品に係わる環境負荷を低減する

- ・ 梱包資材の小型化・簡素化への企画提案
- ・ リサイクル可能な梱包資材の提案を行う
- ・ 得意先・仕入先と常にコミュニケーションを取り、データ更新の確認を行う
- ・ 仕入先講習・展示会などで最新の商品情報を把握し、回覧・社内勉強会を行う
- ・ 化学物質含有調査等、迅速に対応できる様、積極的に情報収集を行う

2. 二酸化炭素排出の削減、電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減

- ・ 冷房 28℃・暖房 18℃～20℃の設定で扇風機を併用して適正な温度管理をしていく
- ・ 3 階会議室のエアコン・照明の消し忘れをしないよう注意喚起する
- ・ エアコンフィルター清掃は引続き定期的に行う
- ・ ガスストーブは室温 20℃になったら消化する
- ・ 暖かい時期は極力、給湯器を使用しない

3. 水の使用量削減

- ・ 設備の点検、不備があった場合の早急な対応
- ・ トイレの設備点検、適正使用を心掛ける

4. 廃棄物の削減

- ・ 引続き分別リサイクルを行う
- ・ クラウド共有フォルダを活用し、積極的にプリンターでの印刷量を減らす様周知する
- ・ 引続き再利用可能な製品を積極的に取り入れ、備品・消耗品の購入量を削減する

5. 紙資源の削減

- ・ 社内メールを利用した情報共有を図り、コピー枚数の削減を進める

6. 環境保全の意識の向上

- ・ 引続きペットボトルの回収、AED の管理を行う
- ・ 次年度も環境関連の研修を行う
- ・ サンプル等デスク周りの整理整頓に努める
- ・ 会社周りの美化に努める

9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

株式会社第一産業

実施確認及び評価日

2024年6月9日

法規制	遵守事項	状況・規制値及び測定器	管理方法	担当	評価	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 東京都環境確保条例	①委託契約	・締結	期限常時	廃棄物削減チーム	○	①収集運搬、中間処分
	②マニフェスト管理	・専用ファイルに保存管理	期限常時		○	②専用ファイルに保存
	③廃棄物表示管理	・廃棄物表示、管理	期限常時		○	③廃棄物表示
	④廃棄物分別管理	・廃棄物分別、管理	期限常時		○	④廃棄物分別
	産業廃棄物排出量の届出(埼玉県へ提出)	・指定様式	期限常時	MS事務局	○	埼玉県提出
板橋区事業系一般廃棄物の処理	板橋区長が許可した一般廃棄物処理業者への処理委託	・適正な分別	期限常時	廃棄物削減チーム	○	適正処理と費用
PRTR法	適正化学物質管理	EU RoHS指令等 MSDS入手	要求の都度	環境配慮チーム	○	遵守した
容器包装リサイクル法	①取引先より注文や見積時に紙製品(ダンボール等)及び化成製品等を無駄のないように設計する	・研修会等で再生容器の知識を高める	期限常時	環境配慮チーム	○	①製品にあった設計を実行している
	②繰り返し使える容器を提案する		期限常時		○	②リサイクルしやすい素材の提案に努めている
自動車リサイクル法	①自動車の長期利用	・車検等による検査	期限常時	エネルギー水削減チーム	○	①車検等検査にて長期利用を続行
	②使用済み自動車の引渡し	・故障箇所の点検	期限常時		○	②使用済み自動車は新車購入時下取り
	③再資源化促進 引渡し業者へ	・リサイクル料の負担	期限常時		○	③廃車の時はリサイクル負担
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	・アイドリングストップ	・駐車場にアイドリングストップ 表示・駐車時エンジン停止	常時監視	エネルギー水削減チーム	○	①駐車場のアイドリングストップの表示②駐車時にエンジン停止続行、取引先に監視をお願い続行、全従業員に各々注意する③エコドライブを心がけている
	・エコドライブ	・適切な運転及び適正な管理	常時監視		○	
消防法	・火災予防条例	・消防器具の設置 ・喫煙所設置	消防器具の点検 喫煙所監視	環境配慮チーム	○	①消火器を設置している ②火災報知機を設置している ③喫煙場所を指定している
労働安全衛生法	・健康診断の実施	・従業員全体の健康診断の結果により指導する	年1回	代表者	○	年1回実施
	・ストレスチェック	・チェックテストを用い把握する	3か月に1回		○	各自実施
家電リサイクル法	・OA機器(パソコン・ファックス・コピー機等)冷蔵庫・エアコン等は排出の際適正処理する	・買い換えの時は購入業者へ廃棄の時は東京都或いは藤ビルメンテナンスにて処理をする	期限 処理発生時	廃棄物削減チーム	○	リサイクル業者にて引取
エコポリス板橋クリーン条例	・事業者の責務として、環境に配慮した事業活動を行い、区が実施する環境保全に関する施策や、環境美化に関する施策に協力しなければならない	・特にない	期限 常時監視	廃棄物削減チーム	○	・廃棄物の削減 ・煙草のポイ捨てをしない
和光市環境基本条例	・事業者の責務として、市が定める環境理念に則り事業活動を行うこと	・特にない		廃棄物削減チーム	○	・廃棄物の削減 ・電力使用量の削減
	・事業活動を行うに当たっては、公害の発生を防止し、廃棄物を適正に処理する事。					
	・再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用するように努めなければならない					
グリーン購入法	物品購入時はできる限り環境物品等の選択に努める	・特にない	購入都度	廃棄物削減チーム	○	・積極的に購入している
フロン排出抑制法	・簡易点検	・点検の記録	四半期ごと	取締役	○	・年4回実施
違反・訴訟の有無	環境関連法規及び条例への違反はありません。なお、関係機関より違反等の指摘、訴訟は過去3年ありません。					

※最新性の確認は、毎年6月に確認をする

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表取締役：磯崎 孝

2024年6月10日

2024年度の目標の取組みについて

○2023年度の目標と評価

結果 1 扱品について大きく未達成となる数字になりました。

- ・ 不燃ごみ達成率・・・昨年比大きく増加しましたが社内整理に多くの不燃ごみを出したのが増加の原因と思われます。
- ・ ガソリンはコロナが全面規制解除となり、積極的に顧客へのアプローチが可能になった為、来期は気を付けながらの運行を致します。
- ・ 産廃に関しても事務機器・書棚等を整理したのが増加の原因と思われます。
- ・ 事務用コピー用紙・・・直近では 790kg 前後が通常量になっていて目標値が現実と差が有るので、2023 年度は見直しをした。電子帳簿保存法制度や複合機導入による FAX の電子化により今後はコピー用紙の使用も減ると思われます。

今後も事実内容を確認し一時的な数字だけで判断せず、目標数値に向け、無駄の無いよう進めて行きたいと思います。

○2024 年度の取組について

コロナの規制緩和により行動が活動に変化が出るので環境への影響も注意していく必要は有ると思われます。

環境における関心は年々世界各地で取り上げられて、高い関心をニュースなどで拝聴します。

各国、各地における集中豪雨や温暖化による北極圏の氷河の減少など毎年話題になりますが、世界全体では化石燃料の問題も途上国との意識の違いなどで、中々纏まりません。

日本でも政府は 2050 年温室効果ガス排出量の「ゼロ」と言う非常に厳しい目標を掲げています。

しかし、小さな積み重ねが大きい効果へと繋がる事を考えて出来る事を実行したいと思います。

会社としてエコアクション 2.1 を通して経営における課題とチャンスとを踏まえ様々な問題に取り組み包装資材業界としては自然や環境に優しい商品を提供して行く事常に考えなければならない。環境問題を重視し取り組む様、再確認して下さい。

見直しの結果

- | | | |
|-------------|---------|----|
| ・環境経営方針 | ：変更の必要性 | 有り |
| ・環境経営目標及び計画 | ：変更の必要性 | 無し |
| ・実施体制 | ：変更の必要性 | 無し |

11. 認証16年継続にあたり

当社は、エコアクション21の認証2008年度から2022年度で15年を迎えました。

認証当初より、CO2削減に力を入れて参りました。温室効果ガス排出量に関しては**30.98%**の削減をしました。この数字は、2017年7月に地球温暖化対策推進本部に国連気候変動枠組条約事務局に提出された、我が国の約束案、2030年度に2013年比▲26.0%だったのが4月に▲46.0%に修正され、更に50%の高みに挑戦し2050年には実質ゼロにする必要とする。当社はこの目標値を下回っています。EA21の取組を更に意識する事が大事だと改めて認識しました。

代表者の環境への方針と、従業員一人一人の環境への取組が大きな成果を生んだものです。これからも、さらに広い視点で環境活動に、全社あげて取り組んで行きたいと思います。

2008年度と2023年度の実績

	単位	2008年度	2023年度	削減率
温室効果ガス排出量	kg-CO2	78,386	54,099	30.98 %
購入電力	kWh	29,188	18,782	35.7 %
都市ガス	m ³	879	325	63.0 %
ガソリン	L	26,681	19,364	27.4 %
水使用量	m ³	336	227	32.4 %

開始当初2008年度と2021年度の比較

